

研修報告

河 内 高 等 学 校

道德教育全体計画の 評価・改善に向けて

～ 広島県立河内高等学校の場合 ～

心美ちゃん



体健くん

学校の概要

・普通学科 2クラス



学校経営計画の作成について

- ① 客観的なデータ分析に基づき、
 - ② 学校長の経営方針のもと、
 - ③ 全教職員が参画意識を持って
- 学校経営計画の作成に関わる

分析したデータ

- ・ (出身中学校別) 入学者の推移
- ・ オープンスクール参加者数の推移
- ・ 生徒指導上の諸問題の推移
(問題行動発生件数・中途退学者数)
- ・ 共通学力テスト通過率の推移
- ・ 進路希望状況の推移 など

具体的データの一例

	平成 21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度
問題行動 発生件数	70	64	48	37	36
中途退学者数	39	48	17	17	16

育てたい生徒像

客観的データ分析と
校訓「心美体健」から

- ・ 「いきいき」と夢と希望を語る生徒
- ・ 「はつらつ」とチャレンジする生徒
- ・ 「さわやか」に他人に接する生徒

道徳教育全体計画の作成

- ① 校訓, 学校の教育目標・育てたい生徒像をもとに,
 - ② 道徳教育の重点目標を定め,
 - ③ 全教職員が参画意識を持って
- 道徳教育全体計画の作成に関わる

校訓

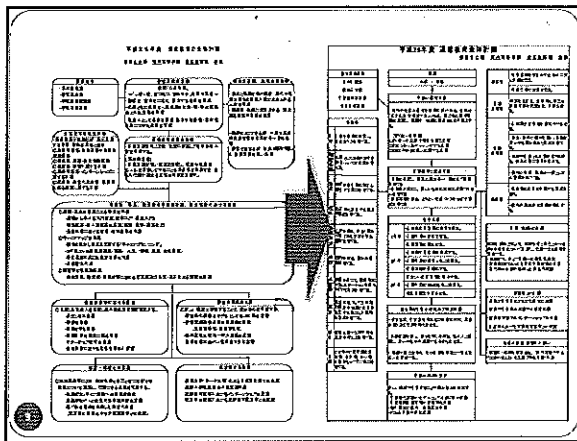
学校の教育目標・育てたい生徒像

道徳教育の重点目標

各教科

分掌

学年



全体計画の見直し

現在の課題

- 「学校の教育目標」「育てたい生徒像」「道徳教育の重点目標」「学年目標」がリンクしていない。
- 「学年目標」が道徳教育の視点に絞られていない。
- 国際交流や部活動等の活動が位置づけられていない。
- 各教科の目標が漠然としている。

改善策

育てたい生徒像

「いきいき」
「はつらつ」
「さわやか」

道徳教育の重点目標

リンク
させる

道徳教育の学年目標

道徳教育の重点目標

育てたい生徒像とリンク

- 自他を尊重し、相互に認め合い、高め合う態度を育てる。
 - 生命を大切に、美しいものに素直に感動できる心を育てる。
 - 規範意識を高め、よりよい社会づくりをめざす態度を育てる。
- 規範意識を高め、よりよい社会づくりを目指す。「さわやか」
 - 自己を理解し、夢と希望をもって、自己の向上を図る心を育む。「いきいき」
 - 自他の生命を尊重し、相互に認め合い、協調して物事に取り組む。「はつらつ」

道徳教育の学年目標（検討前）

学年目標	
1学年	<ul style="list-style-type: none"> 基本的生活習慣の定着を図る。 基礎学力の定着を図る。 進路意識を持たせる。
2学年	<ul style="list-style-type: none"> 基本的生活習慣を確立する。 基礎学力の定着と向上を図る。 進路意識を明確にする。
3学年	<ul style="list-style-type: none"> 望ましい生活習慣を確立する。 基礎学力のさらなる向上を図る。 希望進路を実現させる。

15

道徳教育の学年目標（検討後）

道徳教育の学年目標	
1学年	<ul style="list-style-type: none"> 基本的生活習慣を確立する。 自己理解を進め、自己目標を見つける。 自己肯定感を育む。
2学年	<ul style="list-style-type: none"> 規範意識を身につける。 自らの夢の実現のために、努力する。 自己有用感を育むとともに、他者を尊重する態度を身につける。
3学年	<ul style="list-style-type: none"> 規範意識を高め、社会性を確立する。 夢を実現し、さらに向上させる態度を身につける。 生命を尊重する態度を確立するとともに、他者と協調して物事に取り組む。

16

全体計画の改善案

年度	1	2	3	4	5	6
道徳教育						
基礎学力						
生活習慣						
進路意識						
健康						
芸術						
体育						
その他						

17

心身保健短歌コンテスト

心美し
笑顔溢れる
健康な
生活を送る

心美し
笑顔溢れる
健康な
生活を送る

真珠屋 岩井良

〒100-0001 東京都千代田区千代田

TEL: 03-3555-1111

FAX: 03-3555-1112

URL: www.iwai-ryou.com

岩井良

18

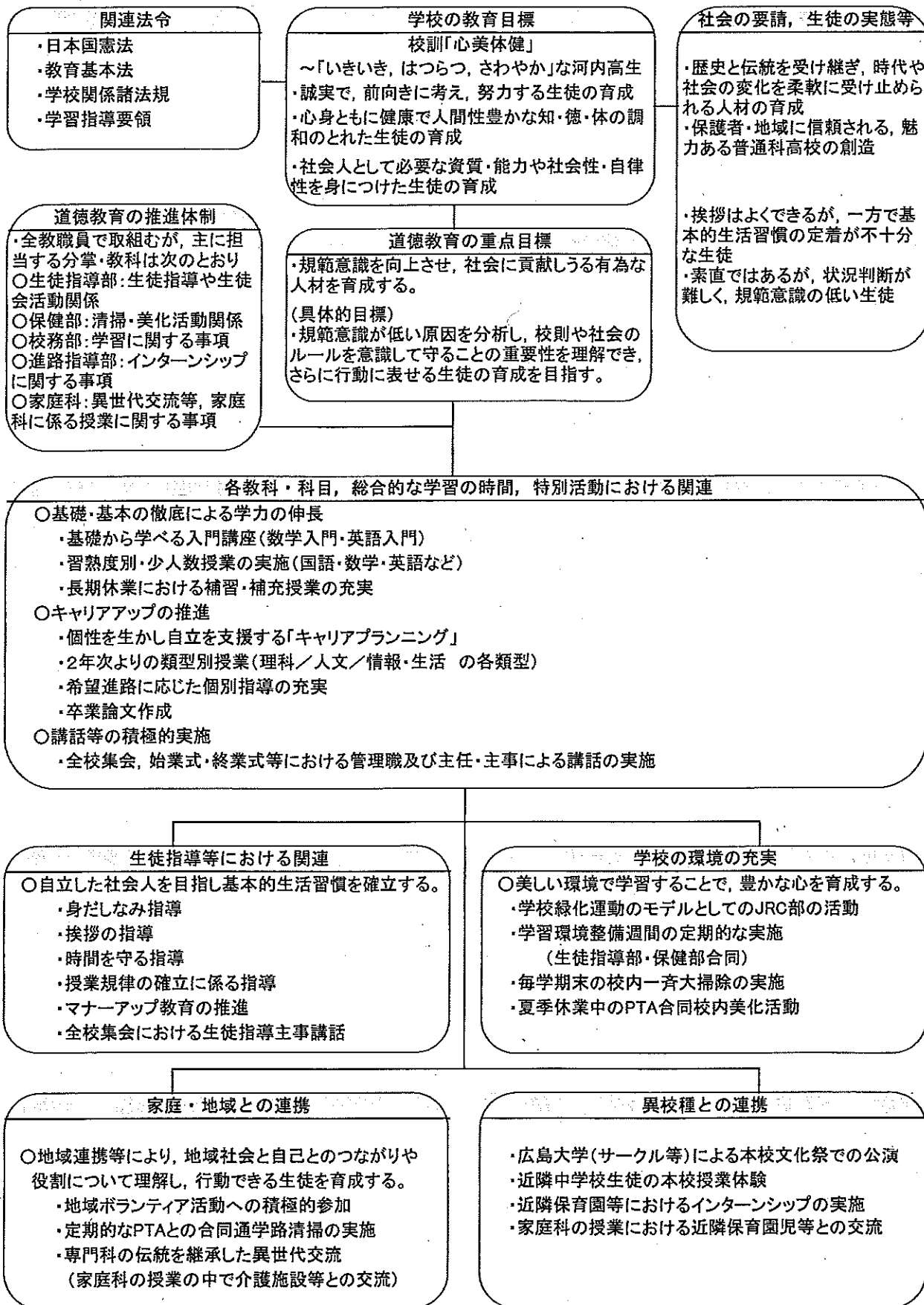
ご清聴ありがとうございました



19

平成25年度 道徳教育の全体計画

校番50番 河内高等学校 全日制課程 本校



平成26年度 道徳教育全体計画

校番50番 河内高等学校 全日制課程 本校

教育関係法規
日本国憲法 教育基本法 学校関係諸法規 学習指導要領

各教科	
国語	国語を適切に表現し、伝え合う力を育てる。
歴史公民	人間としての在り方生き方についての自覚を育てる。
数学	事象を数学的に考察し表現する能力を育てる。
理科	科学的に探究する能力と態度を育てる。
保健体育	心身を鍛え、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。
芸術	感性を高め、豊かな情操を育てる。
外国語	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。
家庭	男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度を育てる。
情報	情報に関する科学的な見方や考え方を育てる。
商業	ビジネスの諸活動を主体的、合理的、かつ倫理観をもって行う能力を育てる。

校訓
心美・体健

学校の教育目標
時代や社会の変化を柔軟に受け止め、生徒の「生きる力」を育成するとともに、魅力ある教育活動を展開し、保護者・地域に信頼される学校とする。
〈育てたい生徒像〉 ○『いきいき』と夢や希望を語る生徒 ○『はつらつ』とチャレンジする生徒 ○『さわやか』に他人に接する生徒

道徳教育の重点目標
・自他を尊重し、相互に認め合い、高め合う態度を育てる ・生命を大切にし、美しいものに素直に感動できる心を育てる ・規範意識を高め、よりよい社会づくりをめざす態度を育てる

学年目標	
1学年	・基本的生活習慣の定着を図る。 ・基礎学力の定着を図る。 ・進路意識を持たせる。
2学年	・基本的生活習慣を確立する。 ・基礎学力の定着と向上を図る。 ・進路意識を明確にする。
3学年	・望ましい生活習慣を確立する。 ・基礎学力のさらなる向上を図る。 ・希望進路を実現させる。

総合的な学習の時間及び特別活動
・生きる力、学び方や考える力を身に付け、自分の在り方生き方を考えさせる。 ・体験活動を通し、自らを律しながら、他の人と協調し、思いやる心や感動する心をもたせる。 ・地域や郷土を知り、その発展を手助けできる社会人を育成する。

学校の環境の充実
美しい環境で学習することで豊かな心を育成する。 ・学校緑化運動のモデルとしてのJRC部の活動 ・学校環境整備週間の定期的な実施 ・毎学期末の校内一斉掃除の実施 ・PTA合同校内美化活動

校務部	・学習意欲を引き出すための工夫と実践を行う。 ・学校行事の立案を行う。
進路指導部	将来を見据え、主体的に自己の進路目標を決定させ、実現させる。
生徒指導部	・基本的生活習慣を身に付けさせる。 ・自主・自律の精神を養い、自他を思いやる豊かな心と態度を育てる。 ・地域や家庭との連携を図りながら、相互の協力態勢を整える。 ・個性の伸張、集団の一員としての資質をはぐむ。
保健部	・健康的な生活を実践する態度を養う。 ・校内外環境美化活動を推進する。

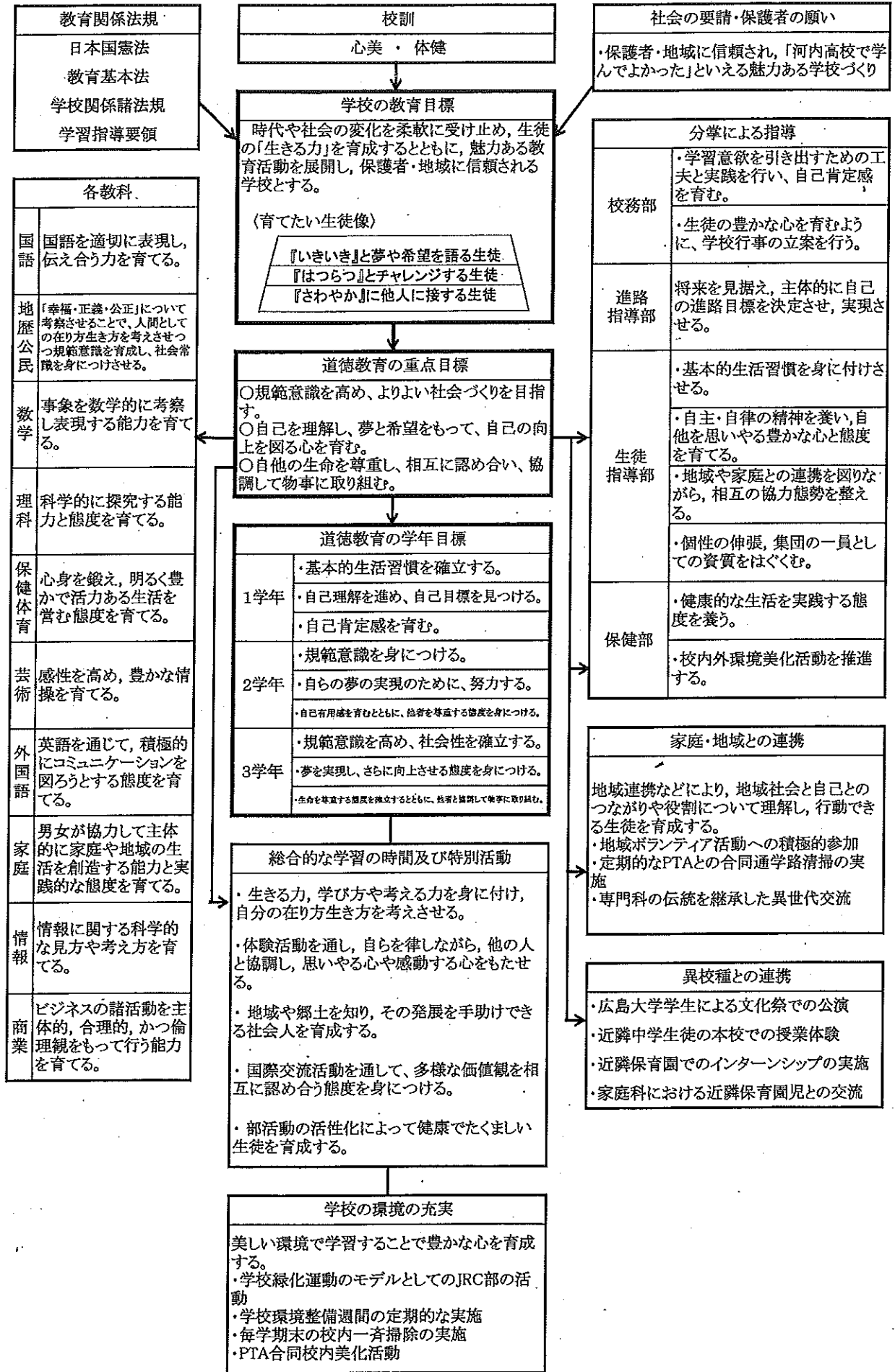
家庭・地域との連携
地域連携などにより、地域社会と自己とのつながりや役割について理解し、行動できる生徒を育成する。 ・地域ボランティア活動への積極的参加 ・定期的なPTAとの合同通学路清掃の実施 ・専門科の伝統を継承した異世代交流

異校種との連携
・広島大学学生による文化祭での公演 ・近隣中学生徒の本校での授業体験 ・近隣保育園でのインターンシップの実施 ・家庭科における近隣保育園児との交流

社会の要請・保護者の願い
・保護者・地域に信頼され、「河内高校で学んでよかった」といえる魅力ある学校づくり

平成26年度 道徳教育全体計画改善案

校番50番 河内高等学校 全日制課程 本校



教育関係法規	
日本国憲法	
教育基本法	
学校関係諸法規	
学習指導要領	

各教科	
国語	国語を適切に表現し、伝え合う力を育てる。
地歴公民	「幸福・正義・公正」について考察させることで、人間としての在り方生き方を考えさせつつ規範意識を育成し、社会常識を身につけさせる。
数学	事象を数学的に考察し表現する能力を育てる。
理科	科学的に探究する能力と態度を育てる。
保健体育	心身を鍛え、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。
芸術	感性を高め、豊かな情操を育てる。
外国語	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。
家庭	男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度を育てる。
情報	情報に関する科学的な見方や考え方を育てる。
商業	ビジネスの諸活動を主体的、合理的、かつ倫理観をもって行う能力を育てる。

校訓	
心美・体健	

学校の教育目標	
時代や社会の変化を柔軟に受け止め、生徒の「生きる力」を育成するとともに、魅力ある教育活動を展開し、保護者・地域に信頼される学校とする。	
〈育てたい生徒像〉	
『いきいき』と夢や希望を語る生徒	
『はつらつ』とチャレンジする生徒	
『さわやか』に他人に接する生徒	

道徳教育の重点目標	
○規範意識を高め、よりよい社会づくりを目指す。	
○自己を理解し、夢と希望をもって、自己の向上を図る心を育む。	
○自他の生命を尊重し、相互に認め合い、協調して物事に取り組む。	

道徳教育の学年目標	
1学年	・基本的な生活習慣を確立する。 ・自己理解を進め、自己目標を見つける。 ・自己肯定感を育む。
2学年	・規範意識を身につける。 ・自らの夢の実現のために、努力する。 ・自己有用感を育むとともに、他者を尊重する態度を身につける。
3学年	・規範意識を高め、社会性を確立する。 ・夢を実現し、さらに向上させる態度を身につける。 ・生命を尊重する態度を確立するとともに、他者と協調して物事に取り組む。

総合的な学習の時間及び特別活動	
・生きる力、学び方や考える力を身に付け、自分の在り方生き方を考えさせる。	
・体験活動を通し、自らを律しながら、他の人と協調し、思いやる心や感動する心をもたせる。	
・地域や郷土を知り、その発展を手助けできる社会人を育成する。	
・国際交流活動を通して、多様な価値観を相互に認め合う態度を身につける。	
・部活動の活性化によって健康でたくましい生徒を育成する。	

学校の環境の充実	
美しい環境で学習することで豊かな心を育成する。	
・学校緑化運動のモデルとしてのJRC部の活動	
・学校環境整備週間の定期的な実施	
・毎学期末の校内一斉掃除の実施	
・PTA合同校内美化活動	

社会の要請・保護者の願い	
・保護者・地域に信頼され、「河内高校で学んでよかった」といえる魅力ある学校づくり	

分掌による指導	
校務部	・学習意欲を引き出すための工夫と実践を行い、自己肯定感を育む。 ・生徒の豊かな心を育むように、学校行事の立案を行う。
進路指導部	将来を見据え、主体的に自己の進路目標を決定させ、実現させる。
生徒指導部	・基本的な生活習慣を身に付けさせる。
	・自主・自律の精神を養い、自他を思いやる豊かな心と態度を育てる。 ・地域や家庭との連携を図りながら、相互の協力態勢を整える。
保健部	・個性の伸張、集団の一員としての資質をはぐくむ。
	・健康的な生活を実践する態度を養う。 ・校内外環境美化活動を推進する。

家庭・地域との連携	
地域連携などにより、地域社会と自己とのつながりや役割について理解し、行動できる生徒を育成する。	
・地域ボランティア活動への積極的参加	
・定期的なPTAとの合同通学路清掃の実施	
・専門科の伝統を継承した異世代交流	

異校種との連携	
・広島大学学生による文化祭での公演	
・近隣中学生徒の本校での授業体験	
・近隣保育園でのインターンシップの実施	
・家庭科における近隣保育園児との交流	